

## 強度行動障害のある方への支援体制構築事業

予算額 (債務負担行為設定 34,000千円) (25～27年度)

### 1 事業の目的・概要

強度行動障害（注 1）のある方が地域で生活できるように、障害特性に応じた、構造の工夫をしたケアホーム（現グループホーム）の整備費用とそのホームで生活する方を支援する生活支援員を配置するための費用を一体的に助成し、強度行動障害のある方への支援方法を検証することとし、平成 24 年度予算で事業化。

（注 1） 自傷や他傷、激しいこだわりや器物破損、睡眠の大きな乱れ、拒食、異食等の食事問題や排泄面の問題等極めて特異な行動を頻繁に示し、生命維持にも危険を及ぼすような行動上の問題を指します。

### 2 事業内容

【事業期間】 平成 25 年度から 27 年度まで（26 年 4 月 1 日開所※）

【事業実施法人】 （福）菜の花会（24 年度に公募により選定）

※利用者（定員）4 人のグループホーム。4 人は同法人内の入所施設から転居。

#### （1）ケアホーム整備補助（債務負担行為設定 25 百万円）

【補助対象経費】強度行動障害のある方が居住するケアホームを創設するための経費

【補助対象者】 強度行動障害者を受け入れている施設を既に運営している社会福祉法人

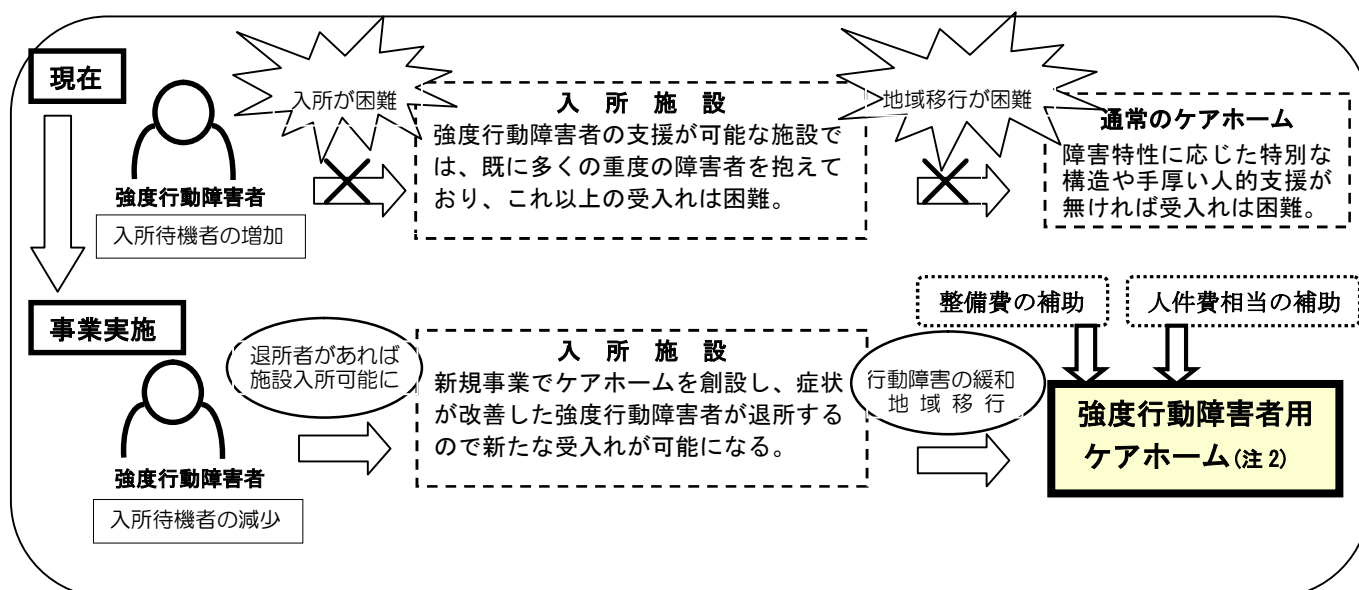
【負担割合】 国 1/2、県 1/4、設置者 1/4

#### （2）生活支援員配置補助（債務負担行為設定 9 百万円）

【補助対象経費】強度行動障害のある方が居住するケアホームの運営に係る加算措置として、生活支援員を配置するための経費

【補助対象】 市町村

【負担割合】 県 1/2、市町村 1/2



（注 2）強度行動障害者の特性に適した構造の工夫（壁や窓等の材質、トイレ、風呂等の複数配置等）や、熟練した支援員によるケア機能を有するケアホーム。